

第5回大阪マラソン ニュースレター

大阪マラソンの新たな取り組みと ランナーエピソード集

大阪マラソンには、様々な思いを持ったランナーがエントリーしています。
その中から、魅力的なエピソードや心に残るメッセージをご紹介します。

全国から集まるランナーには、走ることへの喜びはもちろんのこと、年齢の壁や病との闘い、人生の節目を飾るためなど一人ひとり違った目的があり、同じものが二つとないドラマが生まれます。

本資料では、第5回大阪マラソンに参加するランナーの様々なエピソードやメッセージを収録しました。

多様なランナーの姿や大阪マラソンの楽しさをご理解いただき、積極的な取材活動を行っていただくと幸いです。

第5回大阪マラソンの概要

2p

大阪マラソンの新たな取り組み

8p

ランナーエピソード集

12p

■チャリティにける想い	13P
■チャレンジ！大阪マラソン	15P
■家族・仲間との絆	17P
■大阪大好き！	19P
■チャリティランナーの挑戦	21P

国際化する大阪マラソン

23p

第 5 回大阪マラソンの概要

第5回大阪マラソンの概要

大阪マラソンとは



大阪マラソンは、大阪府、大阪市、大阪陸上競技協会が主催する 32,000 人のランナーが駆け抜ける国内最大級の都市型市民マラソン大会です。

コースは、大阪城公園前をスタートし、御堂筋、中之島、道頓堀、京セラドーム大阪、通天閣周辺などの観光名所を巡り、南港のインテックス大阪でフィニッシュを迎える、大阪の見どころ満載の 42.195km で、大会当日のコース沿道には 130 万人を超える観衆の熱い声援が飛び交います。

制限時間は 7 時間。種目は、「マラソン(42.195km)」と「車いすマラソン(42.195km)」、さらに、高校生や初心者でも参加しやすい距離の「チャレンジラン(8.8km)」があります。

また、本大会は「みんなでかける虹。」をスローガンに、参加する全てのランナーをはじめ、観客の皆さん、ボランティアスタッフ等、多くの方々にチャリティに参画する機会を提供するなど、チャリティ文化の普及をめざしています。

第5回大阪マラソン 大会要項

大会名称 (英文名称)	第5回大阪マラソン ～OSAKA MARATHON 2015～ (英文名 : Osaka Marathon 2015)
主催	大阪府、大阪市、(一財)大阪陸上競技協会
共催	読売新聞社
主管	(一財)大阪陸上競技協会
運営協力	大阪身体障害者陸上競技協会
後援	(公財)日本陸上競技連盟 大阪市地域振興会、大阪府商店街連合会、大阪府商店街振興組合連合会、大阪市商店会総連盟、(公社)関西経済連合会、大阪商工会議所、(一社)関西経済同友会、(公財)大阪観光局、(公財)大阪体育協会、大阪府体育連合、大阪府スポーツ推進委員協議会、大阪市体育協会、大阪市体育厚生協会、大阪市スポーツ推進委員協議会、(一財)大阪スポーツみどり財団、大阪府障がい者スポーツ協会、(社福)大阪市障害者福祉・スポーツ協会、(一社)大阪府医師会、(一社)大阪府病院協会、(公社)大阪府看護協会、国土交通省近畿地方整備局、国土交通省近畿運輸局、阪神高速道路株式会社、(社福)読売光と愛の事業団、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、報知新聞社、株式会社毎日放送、読売テレビ放送株式会社 <順不同>
メインスポンサー	株式会社ケイ・オプティコム
オフィシャル スポンサー	ミズノ株式会社、株式会社ダスキン、大和ハウス工業株式会社、久光製薬株式会社、コカ・コーラ、セイコーホールディングス株式会社、関西大学、株式会社アドバンスクリエイト、第一生命保険株式会社、アサヒビール株式会社、近畿日本ツーリスト株式会社、株式会社フォトクリエイト、日本通運株式会社、大阪シティ信用金庫、トヨタ自動車株式会社、住友電気工業株式会社、岩谷産業株式会社
サポーター	FM802、井村屋株式会社、株式会社神戸屋、株式会社 Mon cher、株式会社青木松風庵、紀州田辺うめ振興協議会、江崎グリコ株式会社
種目	1.マラソン (1)登録 (2)一般 (3)車いす 2.チャレンジラン(8.8km)
開催日時	2015 年(平成 27 年)10 月 25 日(日) 8:55 車いすマラソンスタート 9:00 マラソン・チャレンジランスタート 10:50 チャレンジラン終了 11:15 車いすマラソン終了 16:00 マラソン終了

第 5 回大阪マラソンの概要

競技規則	2015 年度日本陸上競技連盟競技規則、日本パラ陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
コース(マラソン)	大阪城公園前をスタートし、インテックス大阪前をフィニッシュとする大阪マラソンコース (日本陸上競技連盟公認コース/AIMS公認コース)
コース(チャレンジラン)	大阪城公園前～大阪市役所前(公認条件に適合せず記録は公認されない)
制限時間	マラソン : (1) 登録 (2) 一般 / 7 時間 (3) 車いす / 2 時間 20 分、 チャレンジラン : 1 時間 50 分 ※1. 制限時間は、号砲を基準とする。 ※2. 交通・警備、競技運営上、収容開門閉鎖時刻を設定する。収容開門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。
定員	マラソン : 30,000 人、チャレンジラン : 2,000 人
参加資格	1. マラソン : 1997 年(平成 9 年)4 月 1 日以前に生まれたもの (1)登録 日本陸上競技連盟登録競技者 (2)一般 日本陸上競技連盟未登録者等 ※(1)(2)共に、6 時間 30 分以内に完走できる者。 (3)車いす レース仕様車(日本パラ陸上競技連盟競技規則による)で 2013 年(平成 25 年)4 月 1 日以降の国内または国外の車いすレースにおいてハーフ : 1 時間 10 分以内、フルマラソン : 2 時間 20 分以内の記録を有する者計 30 人。 2. チャレンジラン 2000 年(平成 12 年)4 月 1 日以前に生まれた者で 1 時間 20 分以内に完走できる者。 ※車いすでの参加は不可
参加料	個人 : マラソン : 国内 10,800 円 国外 13,000 円 チャレンジラン : 国内 5,400 円 国外 6,500 円 ※チャリティ募金については、参加料とは別に 1 口 500 円を 2 口以上。 ペア : マラソン : 1 ペア(2 人) 30,000 円 ※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者 1 人につき 1 口 500 円を 2 口以上。 グループ : マラソン : 1 グループ(3～7 人) 105,000 円 ※チャリティ募金については、参加料とは別に参加者 1 人につき 1 口 500 円を 2 口以上。 ※当選後の入金時には、参加料とは別に申込区分に応じた事務手数料が必要となります。

第 5 回大阪マラソンの概要

第 5 回大阪マラソン ～ランナーデータ～

ランナーエントリー数

	マラソン (42.195 k m)	チャレンジラン (8.8 k m)	合計
定員	30,000 人	2,000 人	32,000 人
エントリー (H26.4.3～5.8)	130,975 人		
内訳	個人：100,914 人 市民アスリート：1,010 人（先着順／新設） チャリティランナー：181 人 （先着順／5 月 8 日 17 時時点） ペア：6,314 組（12,628 人） グループ：2,436 組（16,242 人）	6,839 人	137,814 人

出場予定状況

○都道府県別出場予定状況（上位 5 位）

- ①大阪府（12,863 人：37.02%）
- ②兵庫県（4,172 人：12.01%）
- ③東京都（2,371 人：6.82%）
- ④京都府（1,511 人：4.35%）
- ⑤愛知県（1,274 人：3.67%）

○年齢構成

- 20 歳未満（139 人：0.4%）
- 20 歳以上 30 歳未満（3,728 人：10.7%）
- 30 歳以上 40 歳未満（9,042 人：26.0%）
- 40 歳以上 50 歳未満（12,518 人：36.0%）
- 50 歳以上 60 歳未満（7,388 人：21.3%）
- 60 歳以上（1,927 人：5.5%）
- 不備・不明（2 人：0.0%）

○男女別

- 男性：25,595 人（73.66%）
- 女性：9,149 人（26.33%）

○種目別最高年齢（国内エントリー）

- 男子マラソン：82 歳
- 女子マラソン：79 歳
- 男子チャレンジラン：91 歳
- 女子チャレンジラン：76 歳

○海外からの参加者数（上位 3 位）

- 計 3,548 人
- ①中国（1,436 人※香港・マカオ含む）
- ②台湾（1,254 人）
- ③タイ（165 人）

○種目別最高年齢（国外エントリー）

- 男子マラソン：73 歳
- 女子マラソン：66 歳
- 男子チャレンジラン：75 歳
- 女子チャレンジラン：59 歳

本大会では、世界 54 の国・地域からのエントリーがあり、3,548 人の参加を予定しています。

第 5 回大阪マラソンの概要

“100 万人の応援団長”に今年も森脇健児さんが就任



第 4 回大会に引き続き、タレントの森脇健児さんに第 5 回大阪マラソンの“100 万人の応援団長”に就任いただきました。

沿道からのおもしろくて熱い応援は、大阪マラソンの大きな魅力の一つであり、前回大会では130万人が大声援を送りました。

森脇さんには、この“100万人の応援団”の団長として、今年も大会を大いに盛り上げていただきます。大会当日は、コース沿道をめぐりながら、団長として沿道応援を盛り上げていただくほか、大会前からの沿道応援参加の呼び掛けや、前日のEXPO会場でのイベント出演などの事前盛上げにもご協力いただきます。

「森脇団長の応援かるた」を配信中！

日本で、世界で、さまざまなマラソンに出場経験がある森脇団長が、「大阪マラソンは新しい祭り。こんなに“笑い”があちこちで起きるマラソンはどこにもないで！」と、ユーモア溢れる大阪独特の沿道応援を大絶賛。そこで、応援団長の名に懸けて、自身の“マラソン哲学”などを盛り込んだ、熱く、真面目、かつ為になる約 50 種類もの応援語録をかるた風に「あ」から「ん」まで順番に発信。大阪マラソンのスローガン「みんなでかける虹。」のなないろの「7」にちなんで、大会 77 日前となる 8 月 9 日(日)に初回を配信。土・日・祝日を除き毎日一つずつ、大阪マラソン HP で配信しています。

<http://www.osaka-marathon.com/2015/yell/karuta/>



【プロフィール】

森脇 健児(もりわき けんじ)

昭和 42 年 2 月 5 日大阪府枚方市出身。日本全国を飛び回り、テレビ・ラジオに幅広く活躍。中学・高校と陸上部に所属・100m11 秒 02 を記録し、インターハイにも出場している。海外のレースにも参加するなど、月間 250km 超のトレーニングや大会への参加等、タレント活動と並行してアスリートとしての活動にも力を入れている。第 1 回大阪マラソンチャリティランナー(※第 3 回大会からチャリティアンバサダーへ名称変更)として参加。第 4 回大阪マラソン応援団長として参加。

第5回大阪マラソンの概要

第5回大阪マラソン チャリティアンバサダー



小淵 健太郎
(こぶち けんたろう)
ミュージシャン コブクロ



八木 早希
(やぎ さき)
フリーキャスター



山中 伸弥
(やまなか しんや)
京都大学iPS細胞研究所
所長・教授



森 理世
(もり りよ)
MISS UNIVERSE 2007
モデル
ダンス アーティスティック・ディレクター



中村 鴈治郎
(なかむら がんじろう)
歌舞伎俳優



小島 智子
(こじま ともこ)
元NFLチアリーダー
日本人初チームキャプテン
TOMOKO KOJIMA
CHEER DANCE ACADEMY主宰
追手門学院大学 客員教授



© 松竹株式会社



アン ミカ
(あん みか)
モデル
タレント



ジミー大西
(じみー おおにし)
画家



赤星 憲広
(あかほし のりひろ)
野球解説者



大阪マラソンを「走る」ことで、チャリティの輪を広げてくださる方々です。



大会を元気に、そして華やかに盛り上げてくださる方々です。

※チャリティアンバサダーの詳細については、下記サイトをご覧ください。

<http://www.osaka-marathon.com/charity/ambassador/>

大阪マラソンの新たな取り組み

大阪マラソンの新たな取り組み

「なないろチーム対抗戦」を実施

今大会、参加する全ランナーを、エントリー時に選んだチャリティカラーごとにチーム分けし、各チームのフルマラソンの完走者の平均タイムが一番速かったチームを優勝チームとする「なないろチーム対抗戦」を新設。

優勝チームの完走者の中から^(※)、抽選で 500 人に第 6 回大会出場権を進呈します。

大阪マラソン組織委員会では、「わくわく写真館」での「なないろチーム対抗戦」ページをチーム毎に用意するとともに、参加ランナーにチームカラーの「なないろアイテム」を配付するなど、“史上最大規模のチーム対抗戦”を盛り上げてまいります。

(※) 車いす、チャレンジランは、平均タイム算出及び抽選は対象外

●大阪マラソンわくわく写真館での「なないろチーム対抗戦」ページの開設

ランナーや応援する方々が、WEB 上で交流できるプラットフォームとして、大阪マラソン公式ホームページに「わくわく写真館」を開設。日頃の練習風景や当日身に着けるカラーアイテムなど、写真とコメントを自由に投稿していただけます。

参考 URL: <http://www.osaka-marathon.com/2015/report/>

●「なないろアイテム」の配付

マラソン EXPO のランナー受付で、「なないろアイテム」としてチームカラーの「なないろリストバンド」と「ナンバーカード」を配付し、大会当日のチームの一体感を醸成します。

●森脇団長「なないろ応援メッセージ」

「なないろチーム対抗戦」で、32,000 人のランナーが優勝に向かって頑張れるように、またチームメンバー同士が一致団結できるように、応援団長である森脇健児さんから各チーム(色)に向けて、各色にちなんだユーモア溢れるメッセージをお届けいただいています。



赤組



オレンジ組



黄色組



緑組



水色組



紺色組



紫組

大阪マラソンの新たな取り組み

ジミー大西さん オリジナル絵画「駆ける」



第5回大阪マラソンチャリティアンバサダーのジミー大西さんに大阪マラソンをイメージした作品を制作いただきました。

タイトルは「駆ける」です。このオリジナル絵画は寄付を呼びかけるポスターとして大阪府内の市役所、駅構内などの各所に掲出されています。

【ジミー大西さんからのコメント】

なにわの歴史と風景を考えて、大阪城、モダンな建築大阪市中央公会堂、淀屋橋、通天閣を。そして、秋にいっぱい咲く中之島公園のバラ。

本大会のチャリティ色にもこだわり7色の帽子に3万人以上が走るランナーの1人が虹に向かっていくイメージを描きました。

今回チャリティアンバサダーとして走る事、また大会のためにオリジナルで描いた作品を見てもらえるのを楽しみにしています。

「ケイ・オブティコム Presents チャリティ親子ラン 2015」

今大会から、大阪マラソンに出場できない年齢のお子さまやフルマラソンを走る自信がない人にも、楽しく走っていただける「ケイ・オブティコム Presents チャリティ親子ラン 2015」を10月25日(日)の大阪マラソン当日に開催。

本物の大阪マラソンのコースのラスト約1.2kmを、大阪マラソンの魅力の1つである沿道からの応援を受けて走り、マラソンの醍醐味であるフィニッシュゲートをくぐる感動の瞬間を体感いただくとともに、フィニッシュ後にはランナーサービスもあるなど、まさに大阪マラソンを“おいしいとこ取り”できるイベントです。

イベント終了後には、メインスポンサーの株式会社ケイ・オブティコムが提供する大阪マラソン公式「ランナーズ・アイ」で、スタート・フィニッシュの瞬間が映像でご覧いただけるサービスの提供も予定しています。

子ども(小学生)と大人(保護者)のペア624人(312組)が参加を予定^(※)しており、参加いただいたペアにはミズノ株式会社製の参加記念ハンドタオル、完走されたお子さまには完走証や完走メダルをプレゼントします。

(※)8月28日17時現在

参加料:1組3,000円

チャリティ募金:1組500円以上

※「ケイ・オブティコム Presents チャリティ親子ラン 2015」の参加者募集は終了しています。

(ただし、状況により二次募集を行う場合があります。)

大阪マラソンの新たな取り組み

なないろチャリティキャップの販売

今大会から、出場ランナーのみが申込時に任意で購入できる限定品として、「なないろチャリティTシャツ」に加え、「なないろチャリティキャップ」を販売。ランナーが事前に選択するチャリティテーマカラーと同色のチャリティキャップを購入できるものです。

販売価格:2,000 円

※売上の一部を支援したいチャリティカラーで選んだ寄付先団体に寄付します。

※全 7 色。サイズはフリーサイズ(約 58cm～60cm)のみ。(ミズノ㈱社製)



例:赤色

語学対応ボランティアの新設・ボランティア申込条件の拡充

第 5 回大阪マラソンで活動していただく 1 万人のボランティアを募集するにあたり、今年は、申込条件を広げました。より円滑な大会運営とランナーへのホスピタリティ強化のために、海外からの参加ランナーの対応を行う「語学対応ボランティア」を新設したほか、中学生から参加可能にすることでボランティア参加者をより広く募りました。

(1)「語学対応ボランティア」を新設

第 4 回大会では国外から 3,238 人のランナーが参加しました。国際色豊かなランナーに対して、きめ細かいサービスができるよう「語学対応ボランティア」を募集しました。

※「語学対応ボランティア」の方には、国内ランナーの対応もあわせて行っていただきます。

(2) 中学生から参加可能に

昨年までの申込条件(15 歳以上、中学生不可)を広げ、今大会は 12 歳以上(小学生不可)から参加可能になりました。

※中学生ひとりでのボランティア参加は不可。中学生をメンバーに含む場合、20 歳以上の保護者もしくは引率者同伴が必要。

■中学生ボランティアの参加数:115 人

■語学対応ボランティアの参加数:428 人(希望者数)

※いずれも 8 月 12 日現在

「市民アスリート枠」の募集

「自己ベストタイム更新」を目標にトレーニングを積み重ねている市民ランナーを応援するために、「市民アスリート枠」を新設しました。大阪マラソンが独自に算出した年代・性別ごとの基準タイム以内の記録を有する 1,000 人を、一般ランナー受付に先駆けて募集しました。参加資格に年代・性別ごとの基準タイムを設けるのは、大規模市民マラソンでは初の取り組みとなります。

◎募集時の基準タイム

年 齢	男 性	女 性
18～39 歳	03:00:00	03:40:00
40～49 歳	03:15:00	03:45:00
50～59 歳	03:25:00	04:00:00
60～69 歳	03:50:00	04:30:00
70 歳～	04:30:00	05:10:00

ランナーエピソード集

第5回大阪マラソンには、137,814 人の方々にお申込みいただきました。(5月8日17時時点)
このうち、本大会に出場いただける約 32,000 人のランナーには、当選の喜びに加え、参加に至った様々なエピソードがあります。

ここでは、エピソードを投稿いただいたランナーの皆様からの一部をご紹介します。

チャリティにける想い

ピックアップランナーインタビュー

●藤井 壽夫(ふじい ひさお)さん 64 歳 北海道在住 種目:マラソン(一般)



**七色に彩られた大会に感動！
今年の私は、紺色(子どもの未来を支える)で走ります。**

——チャリティを意識して走られているそうですね。

現在は未来の教師を育てるため、短大で教職科目の指導をしています。短大に勤める前はずっと中学校の教師でした。長らく子どもと関わってきましたので、今年のチャリティカラーは紺色(子どもの未来を支える)を選択。一昨年は、がんで亡くなった父・兄・叔母を想い、がん撲滅の T シャツを着て走りました。

——もともと短距離を走っていたら、短距離走者から見たマラソンの魅力とは？

学生時代は陸上部で 400m を走り、教師になってからも陸上部の顧問をするなど、走ることはずっと身近でした。マラソンの魅力は、ランナー同士が連帯感を持って、助け合い励まし合って走れること。私たちはトップアスリートではありません。0.1 秒単位の勝ち負けより、そんな心の交流をうれしく感じます。

——大阪マラソンは今回で 3 回目の出場だそうですね。過去 2 回は、いかがでしたか？

一昨年初めて参加したときは、まず前々日にゼッケンをもらう受付にて、ボランティアの皆さんから大きな拍手で応援されたことに非常に感動しました。大会当日もエネルギーな声援に助けられゴールできました。去年は「ニックネーム入りナンバーカード」で参加。「たそがれ君」という私のニックネームを沿道の皆さんがずっとゴールまで呼び続けて応援してくれました。途中太ももがつり歩いたりもしましたが、この温かい励ましのおかげで完走できました。今年も、完走をめざして走りたいと思っています。

●辻本 誓子(つじもと ちかこ)さん 50 歳 和歌山県在住 種目:マラソン(一般)



**私が走ることで、少しでもがん医療に貢献したい！
マラソンが好きだった父の分まで頑張ります。**

——お子さんの大学進学を機に、マラソンを始められたとか。

そもそもマラソンを始めたのは 4 年前。子どもが受験を乗り越え、無事大学に合格できたことがありがたく、その感謝の気持ちをチャリティという形で恩返ししようと思ったんです。初めてエントリーしたのは第 2 回大会。そのときは抽選に外れたのですが、第 3 回で当選。完走して、大きな達成感も得ました。

——大阪マラソンを走ったことを、お父様も喜んでくださったそうですね。

私が第 3 回大阪マラソンを走ったことを父はとても喜んでくれました。ちょうどその頃父にがんが見つかり、父は「自分も頑張るから」と私のメダルを持って手術室に向かったほどです。第 4 回大会は落選。父には「大阪マラソンは外れたけど、9 月には別のマラソンにでるから応援してや！」と伝えましたが、その年の 6 月に亡くなりました。そして遺品整理のとき、一つのアルバムを見つけました。そこにはマラソンの記録用紙とゼッケンが張り付けてありました。父がマラソンをしていたことを、このとき初めて知ったんです。私がマラソンを始めたことを喜んでくれた理由がよくわかり、熱いものがこみあげました。

——今回、どのような思いで大阪マラソンを走りますか？

今、がんと闘っている人たちに少しでも勇気を与えることができればと思います。今まで達成できなかった 4 時間半を切ることを目標に、全力で頑張りたいと思います。

ランナーエピソード集

ピックアップエピソード

でや！さん 種目：マラソン(グループ) 生年：1962 性別：男 都道府県：大阪府

過去3回は本当に運良く参加させていただき感謝、感謝です。出場される人達の楽しい雰囲気もそうですが、ボランティアで大会を支えてくださる方々や色々な趣向で盛り上げて頂ける応援の方々に感謝し、励まされながら人生の縮図のようなランができ、毎回本当に感動させていただきました。＜改行＞大阪マラソンに今まで参加出来なかった友人に少しでもこの思いを持って貰いたくずっとペアで新しい仲間を誘い続けてきましたが、今回やっと念願のチームでエントリーできることになり、未体験のメンバー3人に僕の思いが通じました。新しいメンバー含め、皆にチャリティの志を持って貰え、一緒に楽しさも分かちあえれば最高です。

ひとみさん 種目：マラソン(市民アスリート) 生年：1982 性別：女 都道府県：埼玉県

2015年4月のロンドンマラソンで、British Heart Foundation(英国心臓財団)のチャリティランナーとして完走しました。私の挑戦を多くの友人が応援してくれて、スタートラインに立つことができ、本当に感謝しています。世界最大のチャリティマラソンであるロンドンマラソンで、イギリスのチャリティ文化を実感することができました。今度はこの経験を日本で伝えていきたいと思います。私も医学の研究をしているので、大阪マラソンでは、チャリティ先として京都大学 iPS 細胞研究所を選びました。3回目の大阪マラソン、笑顔でゴールします！

Hiro さん 種目：マラソン(陸連登録者) 生年：1960 性別：男 都道府県：和歌山県

初マラソンが、第二回大阪マラソンでした。体力に自信があり、少しの練習では、マラソンの大変さを思い知らされ、途中で足が痛くなり、走る事が出来なくなりました。その時、沢山のの人に頑張れ！と声援を頂き、何とか完走出来ました。あんなに声援をもらったのは人生初めてで感動しマラソンにはまってしまいました。又、私は、世界遺産を見たく旅行に行くのですが、海外は水が汚れています。日本に居れば水が綺麗なのは、あたり前ですが、海外に出て日本の水の素晴らしさを実感しました。その為、水を守る為に水を支えるというチャリティに感銘し、少しでも、協力させて頂きたいと思います。

ツカポンさん 種目：マラソン(一般) 生年：1979 性別：男 都道府県：神奈川県

父が3月にすい臓がんで他界しました。63歳の若さでした。父は約2年前に末期のすい臓がんと診断され、余命半年と宣告されました。こうした中でも、父は、母とともに、約2年、懸命にがんに向かってまいりました。このような父の頑張り、いつもそのそばで支え続けてきた母の努力を称え、また、父母と同じように、がんを戦う人々のために、微力ながらも力になりたい。大阪マラソンに出場し、赤色のチャリティカラーを掲げて走りきりたいです。

チャレンジ！大阪マラソン

ピックアップランナーインタビュー

●尾浦 浩郎(おうら こうろう)さん 48歳 和歌山県在住 種目:マラソン(一般)



走っている途中には、へこたれたりもします。
でも、こうして走れる今が本当に幸せ！

——マラソンを始められたきっかけとは？

7年前、大病を経験しました。一時期は、死をも覚悟するような状態だったのですが、ちょうど下の子が生まれたばかりのタイミング。少しでも家族と一緒に過ごせる時間を延ばしたいと思い、少しずつ走ることを始めました。病気になる前は、お酒を良く飲んでいましたね。そして、運動はほとんどしていませんでしたので、まわりの人々からは「変わるもんだねえ、よくやってるね」と驚き半分で見守られています。

——マラソンを始めて、何か変化はありましたか？

自己ベストを更新するという目標もでき、前向きな気持ちになりました。そのせいか、当初は「いのちの時間を延ばすこと」が希望でしたが、今ではもっと先の未来の夢も描けるほど、身体も心も調子がいいですね。

——大阪マラソンへの意気込みを教えてください。

フルマラソンは確かにしんどいですが、病気に苦しんでいた頃は、身体も自由に動かすことができませんでした。それが今は自由に動かせ、走ることもできる。その喜びをかみしめています。ケガなく、病気がなく大阪マラソン当日を迎え、まずは妻と子どもたちが応援してくれる地点までたどり着くのが楽しみです。そして、完走、できれば自己ベストを更新したいと思っています！

●高宮 円(たかみや まどか)さん 41歳 大阪府在住 種目:マラソン(一般)



早朝ランで鍛えたこの足で、
ランナーとして大阪マラソンを盛り上げます！

——いつも早朝ランをしているそうですね。

主婦であり、仕事もしているものですから、早朝しか時間が取れないんです。だいたいいつも4時に起きて、まずは子どものお弁当づくり。その後、5時前から6時ごろまで走っています。子どもの学校でマラソン大会がある前には、子どもと一緒に練習することもあります。主人も、ときどきは走っているのですが、レースには出ていません。いつか主人と二人でレースに出るのが私の夢です。

——高宮さんがマラソンを始めてから、お子様にも変化があったとか。

子どもは、運動が得意な方ではありませんでした。でも、小学校の先生から「お母さんが走っているせいか、マラソン大会の練習にも積極的に取り組んでいますよ！」と言われ、うれしかったですね。スポーツをだんだん好きになったようで、中学生になった今はバスケ部で頑張っています。

——走っている間は、ご自身にとってどんな時間なのですか？

頭を真っ白にして、ただひたすら走ることに集中するストレス解消のとき。もしくは、答えを出すのが難しい悩みを考えると。このどちらかです。自分でもすごく不思議なのですが、走りながら悩みを考えると、「これしかない！」というようなちょうどいい答えがスパーンと出てくるんです。家事や仕事に追われる日々の中で、走る時間は私にとってすごく大切な時間だと思います。

【第1章】ランナーエピソード集

ピックアップエピソード

ともぞるさん 種目:マラソン(陸連登録者) 生年:1971 性別:男 都道府県:大阪府

私は介護職員です。新人の時から私に優しく接してくれた利用者さんががんの再発で余命半年ほどとの宣告を受けました。抗がん剤治療を受けるか、ホスピスに移るか悩んでいます。私は何もできません。無力を感じます。ただ、私が大阪マラソンに出たら応援に行くと言ってくれます。それまでは頑張って生きると言ってくれます。昨年私はチャリティランナーとして出場しましたが、今思えば名ばかりで、ただ自分のためだけに走ったように思います。今年は恩返しのつもりで、私が、必死に鬼のような形相で、ベスト記録をめざして走ることで、利用者さんに生きる力を少しでも与えられたらと思います。

mnx185さん 種目:マラソン(一般) 生年:1978 性別:男 都道府県:岐阜県

フルマラソンを始めようと思ったのは、2000年のシドニーオリンピックで高橋尚子さんのコメントがきっかけです。「すごく楽しい42キロでした」。この言葉を聞いて、自分も42.195キロを走ったら見たことのないものを見られる、感じたことのないものが感じられるかと思ったからです。実際、3回ほどフルマラソンに挑戦するも、いまだ、高橋さんの言っていたゴール後の「楽しかった」はまだ感じられていません。ぜひこの大阪マラソンで、ゴールした後のそんな感動を味わってみたいです。

ゆうこさん 種目:マラソン(一般) 生年:1962 性別:女 都道府県:大阪府

働くママです。9年前に病気で夫を亡くし、仕事と3人の娘の育児で忙しい日々でしたが、大阪マラソンが始まったのがきっかけに、子どもが寝静まった夜に走り始めました。最初はチャレンジランを走れるようになったらいいなと考えていたのに、2013年には神戸で初めてフルマラソンを完走。2回目は今年2月の京都マラソンで5時間26分。年に数回、マラソンレースに参加するのが楽しみになりました。3人の娘たちも応援してくれています。サブ5を達成すべく、トレーニングに励みます！

みやせんさん 種目:マラソン(一般) 生年:1980 性別:男 都道府県:大阪府

小学校教員としていつも子どもたちに伝えていること。それは「努力して頑張れば、必ず自分を成長させられる」。「勉強やスポーツを頑張してほしい」という子どもたちへの思いから、そう指導しています。今回、大阪マラソンにエントリーするにあたっては、子どもたちに「初マラソンで4時間を切るために、今、毎朝練習をしている。しんどいけど、この目標を達成することで自分を成長させたいんだ！みんなも色々なことにチャレンジしてほしい」と宣言してしまいました。自分に対するメッセージもあるんです。有言実行しありませんよね！

チキンブリトーさん 種目:マラソン(一般) 生年:1978 性別:男 都道府県:大阪府

17年ぶりのフルマラソン。当時は1万メートルの選手で「まあ4倍ちょっとなら」と軽い気持ちでロクに練習もせずに参加。もう一生走らない確信を持てるだけの苦しみを味わいました。しかし近年、大阪マラソンが始まり、目に見えて街中や公園にジョガーが増え、市民ランナーの裾野を広げるツールや情報が身近に感じられるようになると、「もう一回くらい、走ってみたいかも…」と思うようになりました。「走るなら、まだ走れそう今のうちがいい」。タイムにはおよそ自信はありませんが、なないろチーム対抗戦もあるので、頑張って走ります

家族・仲間との絆

ピックアップランナーインタビュー

●宮本 育子(みやもと いくこ)さん 54 歳 京都府在住 種目:マラソン(ペア)



**マラソンはヒヨッコの夫婦ですが、
チャレンジの向こうに見える景色を二人で見たい。**

——今年の4月にはハーフマラソンを完走されたそうですね。

最初にマラソンを始めたのは私。しんどそうに、でも楽しげに走っている私を見て、主人も「僕も走ろうかな」と言いました。練習を重ね、ハーフマラソンに二人で参戦。未知の距離だったので本当にしんどくて幾度となく立ち止まり「どこまで続くねん」と参加したことに後悔…。しかも途中でどしゃ降りの雨にも遭い、半泣きになりました。そんな中、ゴールが見えたときはもう嬉しくて！感動で手をつないでゴールしました。

——大阪マラソンにエントリーしようと思われたのは、なぜですか？

今年がちょうど結婚して30年目の年で、何か心に残ることと思ってフルマラソンにチャレンジしました。この30年、振り返れば、楽しいことも苦しいこともいろいろありました。子ども3人を社会に送り出し、これから新たな気持ちで夫婦リスタートです。その記念になればと思っています。

——当日に向けて、お二人でどんなお話をされていますか？

時間をみつけてランニング・筋トレをしています。「ホンマにこんなんでも完走できるのかな？」と不安でいっぱい。反面「出たくても出られへん人もいっぱいおるし、見たことないくらい大勢の人が応援してくれるし、頑張ろうな」と励ましあっています。完走できたら二人の愛はパワーアップ間違いなしです♪

●藤田 貴久(ふじた たかひさ)さん 24 歳 東京都在住 種目:マラソン(市民アスリート)



**家族4人揃ってマラソン大会に出場するのは初めて！
藤田家の走りにご期待ください!!**

——マラソン一家になられたのは、いつからですか？

2年前です。もともとわが家で一番初めにマラソンは始めたのは父。社会人になってから始めたとのことで、兄や私が小さい頃には「河口湖マラソン(現・富士山マラソン)」などの大会にも出場していました。当時、フルマラソンの42.195kmがどんな距離なのか全然ピンと来ていませんでしたが、それでも父の走る姿を「すごいな」「カッコいいな」と感じていました。そして、小学生から兄弟揃って陸上をスタート。私はその後ずっと陸上を続けており、大学生になった今は部活には入っていませんが、自分で普段20kmのトレーニングをしています。いったんは陸上を離れた兄も2年前からマラソンを開始。そして私はすごくびっくりしたのですが、学生時代以来ほとんど運動をしていなかった母も5年前から突然走り始めました。

——家族4人揃って走るのは、今回が初めてだそうです。

兄が始めた2年前から4人でマラソンにエントリーするようになったのですが、これまでは全員が当てることはなく、2人とか3人とか。それでも、コースの折り返し部分などで家族とすれ違くと、お互い俄然やる気が出るんです。だから、4人揃う今回はすごく楽しみです。現在住んでいる場所が違うので、練習も別々でしていますが、家族でLINEのグループを作って、状況を報告し合っています。楽しんで練習を継続できるのは家族のおかげ。4人の合計タイムで13時間、私個人では2時間半を切れるように頑張ります！

ランナーエピソード集

ピックアップエピソード

じょいなすさん 種目:マラソン(一般) 生年:1971 性別:男 都道府県:大阪府

生まれた時に心臓の弱かった僕を心配した父親が、幼い頃から 3 キロのマラソンに連れ出してくれました。雨の日も雪の日も、仕事が忙しくても、毎朝嫌がる僕を連れ出し、僕は泣きながらも父親の背中を追いかけて続けました。しかし、おかげで心臓も強くなったのか、風邪ひとつひかない健康な身体になり、小学校のマラソン大会でも入賞。実は走るのが苦手だった父親が、これをきっかけにして初めてフルマラソンに出たのが、今の僕の年齢だったそうです。僕を育ててくれた両親への感謝の気持ちから、今回父親と同じ年齢で初マラソンに挑戦します。最後まで完走できたら、改めて「健康に育ててくれてありがとう」と伝えたいと思います。

県大 RC さん 種目:マラソン(一般) 生年:1969 性別:男 都道府県:熊本県

幼い頃父親が病気で他界し、父親が嫌いで感謝の気持ちをもつこともなく 40 代後半まで生きてきました。ラン歴 1 年のオッサンランナーです。走り始めたきっかけは、昨年、何気なく走ったハーフマラソンのタイムが良くて喜んでいたら、母親から「実は父親が若いころ実業団でマラソンしていた」と聞かされたから。その話が本当なのか？父親の背中を追いかけて走り続けることで、感謝の気持ちを抱けるようになりたい。父の思い出らしい思い出はないけれど、心の中では父親と会話しながら練習しています。

はっしーさん 種目:マラソン(一般) 生年:1992 性別:男 都道府県:大阪府

祖母は 3 年前から歩くことが不自由になりました。祖母は日課であったウォーキングに行かなくなり、おもに家の中でしか行動しないようになりました。私は祖母を少しでも勇気づけたいと考え、3 年前から毎年マラソンを走っては、祖母にその感想を伝えています。伝えるたびにうれしそうに聞き入ってくれる祖母を見ると「来年も頑張ろう」と思えるようになり、「歩けること・走れることに感謝する」気持ちを大切にしながら練習に励んでいます。そんな祖母も最近は体調を崩しがちです。できるだけ早いうちに、ベストタイムである 05:29:32 の更新を伝え、少しでも勇気づけてあげられたらと考えています。

マロンのまゆげさん 種目:マラソン(一般) 生年:1974 性別:男 都道府県:茨城県

昨年乳がんを発症した妻。無事手術で取りきれたものの、その後の再発を抑えるため、今年から休業し抗がん剤治療を開始。数回のつらい治療を乗り越え、髪も抜けて一時は丸坊主に。それでも明日への、これからの希望を失くさない彼女のためにも、夫としてカッコイイところをちょっとでも見せたいと思います。今年は納得のできる走りをして、胸を張ってわが家に帰りたいな ♪

yukarin さん 種目:マラソン(一般) 生年:1973 性別:女 都道府県:兵庫県

病院で薬剤師をしています。がんには負けないで頑張っている患者様と接しているうちに、私もギリギリまで頑張れる何かをしたい！と思い、走り始めました。そして去年、生まれて初めて神戸マラソンにチャレンジし完走しました。マラソン初体験だったので、完走することが目標でした。タイムは 4 時間 36 分でした。目標達成したら、今度は、サブ 4 をめざしたいという目標ができました。それ以来、サブ 4 めざして、ランニングクラブに所属し、走力アップに努力を重ねています。その成果を大阪マラソンで試したい！！応援してくれるがん患者さんのためにも、頑張ります。

大阪大好き！

ピックアップランナーインタビュー

●八木 里奈(やぎ さとな)さん 32歳 東京都在住 種目:マラソン(ペア)



**学生時代を過ごした大好きな大阪で、
大好きな親友と一緒に走れるのが楽しみです！**

——ペアで一緒に走る方について、教えてください。

10年前、大阪の同じ大学・同じ部活・同じマンションで過ごした親友(写真右下の森さん)です。私たちは学生時代スポーツに打ち込んでいて、所属していたテニス部でもダブルスを組むなど、いつも一緒。試合でたびたび訪れた靄公園や休日に出かけた難波や心斎橋と、大阪には思い出がいっぱい詰まっています。

——これまで3回大阪マラソンで走られているそうですね。

初めて参加したのは第2回大会。実は、そのときが私にとっての初マラソンだったんです。10km 地点ですでに苦しくなっていたのですが、沿道には応援してくださる方がずっといて、あめちゃんや湿布の差し入れをいただいたり、「ワシは抽選に落ちたんや！だから、ワシの分までしっかり走りやー！」と応援してくださったり。切れ目なく続く温かい応援に支えられながら、最後まで走りきることができました。こんなに温かい大会はほかにはないんじゃないかなと感動し、職場の同期などにも「大阪マラソンいいよー、ぜひ走ってみて！」と勧めています(笑)。

——今回、楽しみにされているのは、どんなことですか？

ペアで走る彼女は佐賀、私は東京で就職し、お互い忙しくなかなか会う機会もありません。今回、大阪で久しぶりに再会し、大学時代を思い出しながら一緒にスポーツできることがとても楽しみです。走っている途中には苦しいこともあると思いますが、それも二人で乗り越えていけたらなと思っています。

●深田 純(ふかだ じゅん)さん 35歳 大阪府在住 種目:マラソン(グループ)



**地元・住之江区で結成した
野球チームのメンバー7人でエントリーしました！**

——大阪マラソンに出ようと思ったのは、なぜですか？

正直ずっと走りたかったんです。その理由は、大阪マラソンのゴールが、私が生まれ育ち、今も住んでいる住之江区にあるから。ふだん土日が仕事なので、毎年マラソン当日は、準備をしていらっしゃるスタッフさんの姿を見ながら通勤。テレビのニュースなどで盛り上がっている様子を見て、出たいと思っていたんです。

——今回は野球チームのメンバーで参加されるとか。

地元の友だちと、私の会社の仲間が集まって野球を楽しんでいます。試合はだいたい月に1~4回。年に1~2回は京セラドーム大阪で試合をすることもあるんです！大阪マラソンには、チームで作った野球のユニフォームを着て参加します！

——マラソン本番への意気込みをお願いします！

スポーツ用品メーカーのサイトによると、「トレーニングは、3日はあけない」ことが大切だそう。なので、それだけは実践しています！これだけ肉体的にしんどいことをすることは、もうないかもしれないと思います。苦痛を越えて走りきる姿を、わが子を含め周りのみんなに見てもらえたらうれしいです。

ランナーエピソード集

ピックアップエピソード

ollie さん 種目:マラソン(陸連登録者) 生年:1985 性別:女 都道府県:大阪府

大阪マラソンが一番、沿道で声援する方とランナーとが一緒に盛り上げられる大会だと思います！マラソン 4 年目、フルマラソン 2 回目。ハイタッチも楽しんで、最後まで笑顔で、止まることなく大阪を駆け抜けたと思います。秘めたる目標はサブ 4！自己の壁を打ち破るため、初めての陸連登録もしました。走った練習で走った距離、練習に傾けた努力は嘘をつかない。そんなメッセージをみんなに発信できたらいいな！旅ランでベストを更新してサブ 4 達成した暁には、島根県に転勤した大切な方に思いを伝えるに行こうと思います。リアル 30 の記念 year に、走る姿で笑顔と勇気を届けたいです。

あん さん 種目:マラソン(一般) 生年:1977 性別:女 都道府県:奈良県

毎年、大阪マラソンに申し込むことが、この季節の風物詩のようになってきました。これまで第 3 回大会に出場しただけですが、沿道の応援やエイドなどのボランティアの方の声援、温かい対応、大好きな大阪の街を走れるコース、エイド食の豊富さに大感動。「また出たいー！」と心から思いました。今年は、自身の目標サブ 4 達成と、結婚という大きな人生の節目を迎え、旦那様と出会えたきっかけとなったマラソンに感謝しつつ、二人で参加させていただきます！よろしくお願いします！

大阪力さん 種目:マラソン(一般) 生年:1968 性別:男 都道府県:神奈川県

九州・福岡出身で、大学までは実家暮らしでした。初めて実家を離れて一人暮らしをしたのが大阪。24 年ほど前です。関西人の活力、元気に圧倒されました。結局、関西暮らしはわずか 1 年半で終了。その後、阪神淡路大震災もあって関西のことが気がかりでしたがご縁なく過ごしていました。上京して 40 歳を過ぎてから、マラソンを始めました。今回大阪マラソンは初めてのエントリー。少子高齢化、人口減少で日本の元気が停滞している中、最近では大阪の元気の無さもよく取りざたされます。はじめて福岡から大阪に出て行ったときのキラキラした大都会・大阪。世界一元気なおばちゃん、おっちゃん。そのノリノリの応援のなかで走りたいです！

カミカゼさん 種目:マラソン(ペア) 生年:1978 性別:男 都道府県:大阪府

去年の大阪マラソンは、ウェディングドレス&タキシードを着てウェディングランさせてもらい、大阪のみんなからたくさん「おめでとう」をいただくことができて、本当に幸せでした。あれから一年が過ぎ、結婚 1 周年記念に再び大阪マラソンを夫婦で一緒に走り、今度は僕たちが大阪のまちとみなさんに「ありがとう」の恩返しをしながら、大会を盛り上げたいと思っています！よろしくお願いします。

た一さん さん 種目:マラソン(陸連登録者) 生年:1984 性別:女 都道府県:大阪府

給水ボランティアから始まった私の大阪マラソン。走るたびに色々なことに気づかされます。特に「人とのつながり」を実感することができる大会だと思っています。これから結婚や出産でまた走れるとは限らないので、めいっぱい大会を楽しみ、みんなと感動を分かち合いたいと思います。頑張るぞ！！

チャリティランナーの挑戦

ピックアップランナーインタビュー

●山崎 美加(やまさき みか)さん 31 歳

寄付先団体名:公益社団法人難病の子どもとその家族へ夢を

私一人の力は小さいけど、マラソンを通じて多くの人をチャリティに巻き込みたい！

——チャリティランナーとして走ることを決意したのはなぜですか？

祖父が社会福祉の仕事をしていた影響で、子どもの頃から「地域のため」「困っている人のため」にお手伝いするのがあたりまえの環境でした。そして私もファンドレイザーとして働くなかで、難病の子どもたちを支援するようになりました。ファンドレイザーとは、聞きなれない言葉かと思いますが、日本語では「資金調達担当」。「想いをカタチ」にするために、ヒト、モノ、お金、情報などあらゆる経営資源を集める人と認識しています。24 時間 365 日気が休まることのない難病の子どもとご家族を、走ることによって支援できればと、マラソンに挑戦することを決めました。

——大阪には思い入れがあるそうですね。

進行性の神経疾患レット症候群とたたかう H ちゃんご家族が住んでいます。病気を持つ子どもたちにとって家族旅行は、看護用品の荷物が大量になることなどから、行きたいと希望を持ちながらも難しいのが現実。そんな家族旅行がスムーズにいくためのお手伝いを通して、H ちゃんご家族と出会いました。

——大阪マラソン本番では、どのように走ろうと思っていますか？

全部で 21 名の方が寄付という形で私の一步を応援してくださいました。温かいお言葉・励まし、走るためのスキルなどさまざまなサポートもいただいています。まずはそんな応援してくださる人々への感謝の気持ちを込めて走りたいと思います。そして、H ちゃんご家族に再会できるのを楽しみにしています。



●井ヶ田 幸子(いげた ゆきこ)さん 46 歳

寄付先団体名:特定非営利活動法人スマイルスタイル

**大阪の街に恩返しをしたい！
だから、チャリティランナーになると決めた！**

ずっと 10 キロレースしか出なかった私に、マラソンの楽しさと家族や友人への感謝をしてくれたのが、初めてのフルマラソンとなった大阪マラソンでした。私がチャレンジすることで少しでも大阪の街に恩返しができればいいなと思い、抽選ではなくチャリティランナーに挑戦することになりました。



ランナーエピソード集

●山田 信幸(やまだ のぶゆき)さん 46 歳

寄付先団体名:特定非営利活動法人世界の医療団

大阪マラソンを走ること、 世界の子どもたちに笑顔届けたい！

形成外科医の私は、世界の医療団がおこなうスマイル作戦(顔面や身体に著しい奇形・損傷が生じた人々に修復外科手術を行って“ごく普通”の社会生活を取り戻そうという医療支援プロジェクト)に、年に数回、医療ボランティアとして参加しています。これまで、カンボジアやバングラディッシュで活動し、ほんの小さな手助けで、本人とその家族が笑顔になってくれることにやりがいを感じています。



2014 年より、世界の医療団が大阪マラソンの寄付先団体になりました。チャリティという形でも世界の医療団の活動を支援しようと、大阪マラソンにチャレンジするようになりました。2014 年の大会は皆さんの応援のおかげで、4 時間 4 分で完走。尊い寄付をラオスの子どもたちへの医療支援活動に役立てることができました。

2015 年の今年もまた、皆さんからいただく寄付は、ラオスでの小児医療プロジェクトにあてられます。このプロジェクトは、現地の人材を育成することにより、ラオスの衛生環境および衛生習慣を改善、救えるはずの命を救うためにおこなわれます。自分の限界に挑戦して頑張りますので、応援とともに、よろしければ寄付をお願いいたします。

●長船 健二(おさふね けんじ)さん 44 歳

寄付先団体名:学校法人 京都大学 iPS 細胞研究基金

iPS 細胞研究推進のため今年も走ります

私たち京都大学 iPS 細胞研究所長船研究室は、iPS 細胞を用いて腎臓病、糖尿病、肝臓病を治す研究をしています。

今回 iPS 細胞研究基金へのご支援を募るため、長船教授が一昨年、昨年に続き3回目の大阪マラソンに挑戦します。



iPS 細胞研究の推進のため、また私たちの研究成果を心待ちにしている患者様のためにも長船教授が一生懸命走ります。応援よろしくお願いします！

大阪・ハンブルク友好都市文化交流ランナー

● マティアス ポリティキ さん 60 歳 ドイツ・ハンブルク市在住

大阪市とドイツのハンブルク市は、1989 年 5 月に友好都市提携し、2014 年には提携 25 周年を迎えました。25 周年記念事業の一環として、ハンブルク市より小説家マティアス・ポリティキ氏が大阪に派遣され、朗読会等を開催し好評を博しました。

同氏は、小説家であるとともにマラソン走者であり、本年3月には『42,195 - Warum wir Marathon laufen und was wir dabei denken』（仮訳：『42,195—なぜ僕たちはマラソンを走るのか、そしてその時何を考えるのか』）を発表しています。

本年4月には、大阪からの友好都市文化交流ランナーとともに、ハンブルクマラソンを完走し、その様子は北ドイツ放送(NDR)など地元メディアで大きく取り上げられました。

ポリティキ氏は、今回大阪マラソンを大阪・ハンブルク友好都市文化交流ランナーとして大阪の文化交流ランナーと共に走ることで、両市の姉妹都市交流関係を世界に発信したいと考えています。

【マティアス・ポリティキ(Matthias Politycki)プロフィール】



撮影: Joere Wolter

1955 年 5 月 20 日、ドイツ・カールスルーエ生まれ。

小説や詩、エッセイなどの執筆を手がけるかわら、世界中を回り、多数の旅行記も発表している。2006 年にはドイツの海運会社ハパックロイド社から初代「船舶作家」に選出され、同社の豪華客船で半年間に渡る航海執筆旅行を行い、その時の体験を『Das Schiff(船)』（2008）に記している。

国内外の数々の文学賞を受賞しているほか、助成金を受けてデンマークのブレヒトハウスをはじめ、アメリカ、イギリスの滞在執筆プログラムにも参加。これらの作品は英語をはじめ、フランス語やイタリア語、中国語や韓国語にも翻訳されている。

今年 10 月には、5 週間滞在した大阪の街や人をテーマに書きおろした詩や短歌、エッセイなどをまとめた『アサヒ・ブルース』の日本語翻訳も出版される。

またマラソン走者としての顔も持つポリティキ氏は、40 年以上走り続けてきたランナーとしての思いを綴った『42,195 - Warum wir Marathon laufen und was wir dabei denken』（仮訳：『42,195—なぜ僕たちはマラソンを走るのか、そしてその時何を考えるのか』）を今年 3 月に発表し、ライブツィヒの書籍見本市でも紹介された。

今年 4 月にもドイツ・ハンブルク市で開催されたハンブルクマラソンを、大阪市から派遣された大阪ランナーとともに完走し、その様子が地元メディアに大きく取り上げられている。

語学対応ボランティアインタビュー

● 留学生ボランティア トラン スワン ソンさん 24 歳 大阪府在住 (ベトナム出身)

—昨年大阪マラソンのボランティアに参加して下さったそうですね。

昨年の4月から専門学校エール学園で貿易やビジネスの勉強をしているのですが、エール学園はインターンシップやボランティア活動が活発で、色々なイベントに参加することができます。昨年大阪マラソンには同じ学校から多くの留学生が参加してとても楽しかったので、今年も友達を誘って応募し、ボランティアリーダーに立候補しました。



—大阪マラソンのボランティアのどんなところが楽しかったのですか？

私たちの担当は給水所だったのですが、ランナーの皆さんにお水を準備したり、大きな声で応援をしました。あんなに多くのランナーを見るのも初めてでしたし、市民ランナーの中には仮装をして走っている人もいて、見ているこちらも楽しくなってきた、一緒にマラソンを楽しんで盛り上げているという気持ちになりました。

ランナーの方から「ありがとう！」と声をかけて貰って、とても嬉しかったです。また、海外からの参加者も多く、中国人留学生に中国語を教えて貰って声をかけました。理解できる言葉で声をかけてもらうことの嬉しさを私たちは知っていますから。

—大阪マラソンのボランティアにかかる意気込みを聞かせてください。

私は大阪マラソンのボランティア以外にも、他のイベントにも積極的に参加しています。学校やアルバイト以外の場所でいろいろな方と交流でき、貴重な経験ができるので留学生活が楽しく、有意義なものになったと思います。昨年は、朝から夕方まで、大きな声でランナーを応援しました。今年は学生生活最後の年ですし、精一杯応援して、大阪マラソンの成功に少しでも寄与できればと思います。

● 留学生ボランティア 石 龍(せき りゅう)さん 27 歳 大阪府在住 (中国出身)



—日本に来て何年ですか？現在、どういった勉強をされているのですか？

日本に初めてきたのは2012年秋で、ちょうど3年になります。最初、熊本の日本語学校で学び、大学院進学のために大阪に来ました。今は、大阪体育大学大学院のスポーツ科学研究科スポーツマネジメント専攻に所属して、スポーツビジネスを学んでいます。

—もともと、スポーツには興味があったのですか？

小学生の頃からずっとサッカーをやっていて、スポーツは好きです。今でも時々フットサルで体を動かしています。日本に留学して、将来について悩み、自分と向き合ううちに、自分が本当にやりたいことを見つけたのが「故郷のサッカーチームの再建」です。そこで、プロスポーツチームの経営などを学べるスポーツマネジメントという領域に興味を持つようになりました。将来は、スポーツに係る仕事に就きたいので、日本のスポーツ用品メーカーなどに就職できたらいいな、と考えています。

—大阪マラソンで、ボランティアをしてみようと思われた「きっかけ」は何ですか？

大阪に来たばかりの頃は、「大阪マラソン」について知らなかったのですが、大学院に入ってから、大阪マラソンにボランティアとして関わっている方の話を聞いたり、周りの日本人学生が実際にマラソンを走ったりボランティアに参加していることを聞いて、自分も参加したいと思うようになりました。ちょうど、『OSAKA 留学生ネット』^(※)で大阪マラソンの募集があったので、迷わず応募しました。スポーツを通して、誰かの役に立てるのは嬉しいことです。私自身が大阪に来た時の印象は、大阪は大きな街で、大阪弁など、人もとても力が良く面白いと思いました。大阪を走る皆さんには、そんな大阪の活気を感じて、また大阪の綺麗な街や景色を見ながら楽しんで走って欲しいと思います。

(※)外国人留学生向けに、地域住民と交流できるボランティア活動等を斡旋する大阪市の事業

本資料に関するお問い合わせ先

大阪マラソン 広報事務局（電通パブリックリレーションズ内）

担当／鬼頭 田中

Tel:06-6342-3370（月～金、10:00～17:00） FAX:06-6342-3377